

		座長	会場A (J棟2階 J26)			座長	会場B (J棟2階 J27)	
9：15～ 9：45	A1	呉 鷯	長谷川理恵	中山間地域における広域連携組織 の関係調整機能と役割	B1	武谷嘉之	高橋亮一	共生史への試み ー日本における共生の歴史的展開ー
9：45～ 10：15	A2		関根章斗	中山間地域における集落営農連携 組織の新たな事業展開とその規定 要因	B2		福留和彦	ソーシャル・イノベーション論の批判 的検討
10：15～ 10：45	A3	石井圭一	伊藤貴義	企業による農業参入をめぐる課題 と対応に関する研究 ー茨城県と千葉県の農地確保支 援 の比較ー	B3		村井伸二	脱成長社会における持続可能なウェル ビーイングの創造 ー自律的OSの醸成と身体的熟議民主主 義の再構築ー
10：45～ 11：15	A4		劉 墨軒	我が国における化学肥料使用量削 減の可能性	B4	大倉 茂	テーリゲラ	森・川・海をつなぐ物質循環の再構築 ーマルクスの環境思想と地域実践から 持続可能な社会を考えるー
11：15～ 11：45	A5	古沢広祐	佐藤翔一	遊休資産の地域内共有システム 「モノの図書館（Library of Things：LoT）」に求められる要 素に関する考察 ーブランチ調布・フレスポひばり が丘コミュニティスペースを題材 にー	B5		関 陽子	「野生動物と人間との共存」のための 物語り（narrative）の意義
11：45～ 12：15	A6		白鳥 武	強制移住下のロヒンギャ民族との 協同 地球共生デザイン コミュニ ティエンパワメント プロジェクト の実践と考察 ーGeosymbiotic workshop 2026: “Co.F.I.R.E” & “Shantir Zaga (Place of Peace)” Chittagong & Cox’s Bazar FDMN Camp, Bangladeshを通してー	B6		太田和彦	課題を温存する「共生」をいかに避け るか ー相生山緑地・弥富相生山線折衷案に おける評価変換と方法的提案ー
13：00～ 14：00								会員総会
14：15～ 16：15	A7	ワーク ショップ	白鳥 武	ストーリーテリングアートの創成 （FDMN（強制移住を強いられた ミャンマー国民）キャンプのコ ミュニティエンパワメントに向け たロヒンギャ女学生によるアート 作品投影プロジェクト）ー地球共 生ワークショップ2026：Co.F.I.R.E （アジア女子大学キャンパス、 チッタゴン、バングラデシュ）ー （予定）	B7	ワーク ショップ	大倉 茂	ワンヘルス論の射程